

革新的技術開発・緊急展開事業(地域戦略プロジェクト)に係る技術提案資料

所属・役職・氏名:佐賀県農業試験研究センター 病害虫・有機研究担当係長 菖蒲信一郎

分野名:野菜・花き

連絡先 :TEL:0952-45-8808、E-mail:shiyoubu-shinichirou@pref.saga.lg.jp

番号:野菜・花き-5

提案事項:タマネギべと病の発生生態の解明に基づく防除技術の開発・実証

提案内容

・以下の技術を開発し、タマネギ産地に深刻な被害を及ぼしているべと病の防除技術を確立する

- ①一次伝染源となる卵胞子の発生生態の解明および土中の菌密度測定法の開発とリスク評価
- ②気象データを用いた二次伝染推定モデルの構築
- ③耕種的防除による一次伝染の軽減
- ④効果の高い薬剤の選定および適期防除による二次伝染の制御

・想定される地域:北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄、全国

・対象品目:タマネギ

現時点で生産現場等での実証研究(別紙のSTEP2)が可能か:はい いいえ
いいえの場合、研究室やラボレベルの研究(別紙のSTEP1)があと何年程度必要か:1年程度

期待される効果

西日本を中心としたタマネギ産地においてべと病による減収を低減し、安定生産が確保されることで、国内のタマネギの価格安定に寄与する。

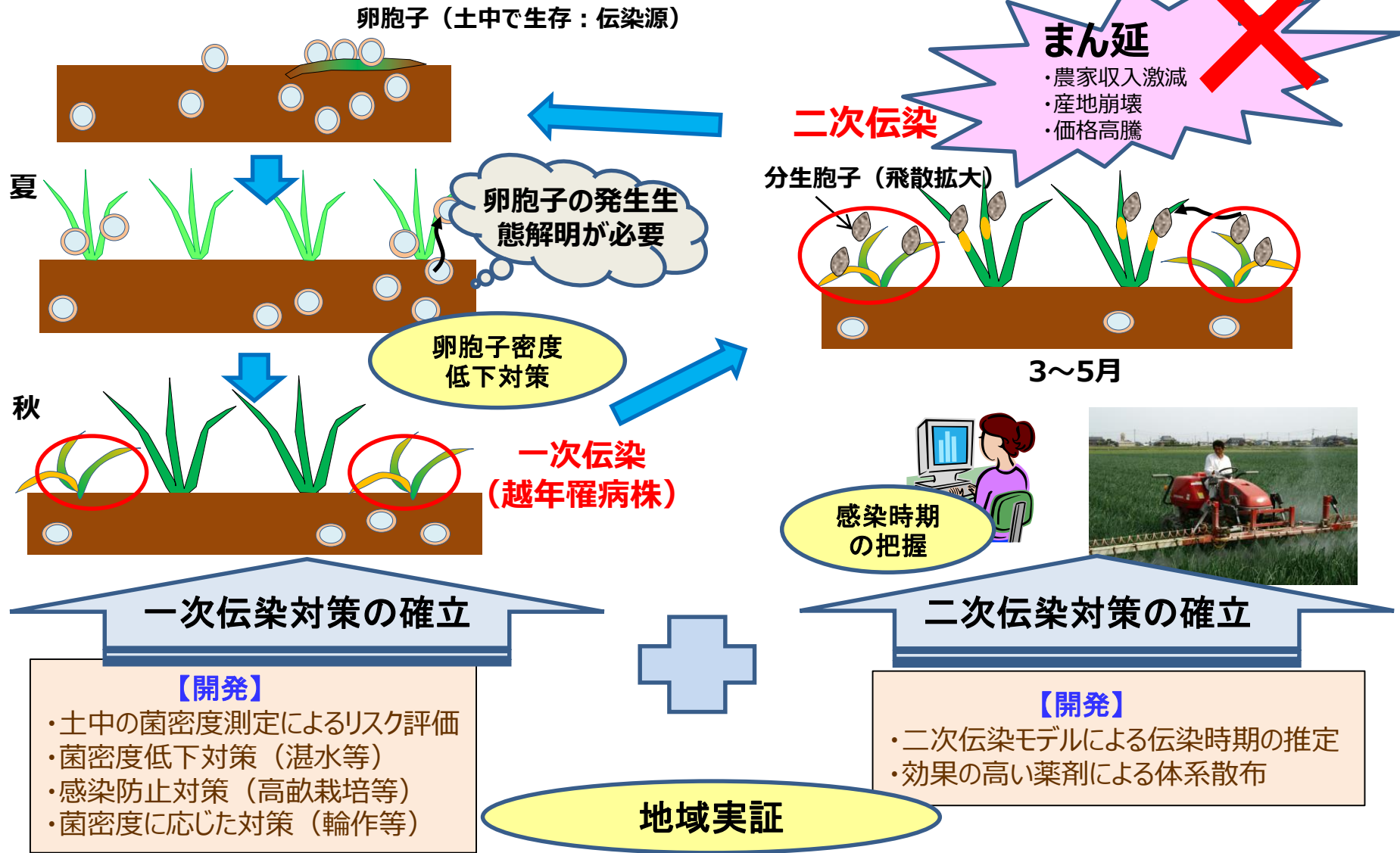
想定する研究期間:3年

研究期間の概算研究経費
78,947千円

コメント 西日本のタマネギべと病の発生生態を佐賀大学と九州沖縄農業研究センターで解析し、国内産地の中心である兵庫県、佐賀県で防除技術の実証・普及を行う。

(うち研究実証施設・大型機械の試作に係る経費 0千円)

タマネギベと病の発生生態の解明に基づく防除技術の開発・実証



タマネギベと病の総合防除対策の普及